

《目指す学校像》スローガン：チーム湯口（地域&学校&家庭）

児童が笑顔で登校し、明日を楽しみに下校する学校
故郷を愛し、進んで地域と関わる児童を育てる学校
全職員が報告・連絡・相談と情報共有に努め「同一姿勢」「同一歩調」で教育にあたる学校

【早期発見】

- 日常の見守りと信頼関係づくり
- 表情や行動の変化を見逃さない
- 情報交換を密に（職員・家庭）
- 定期的な情報収集
 - ・ 学校生活アンケート（児童・年3回）
 - ・ 期末個別面談（保護者）
 - ・ 保護者アンケート（年3回）

【早期対応】

- 迅速で正確な情報収集と事実確認
- 組織的対応（方針・対策）
 - ・ 「いじめ防止対策委員会」で協議
- 毅然とした指導と経過観察・支援
- 再発防止への支援・助言の継続
- ◎ 関係機関と連携（※重大事案）
- ◎ 説明責任（※重大事案）

【未然防止】が第一！

- 安心・安全な学校生活の保障と伝え合うことのできる居場所づくり
- 一人一人の活躍の場を保障し、自己有用感や自尊感情の育成（認められる場）
- わかる授業と道徳教育・学級活動・体験活動の充実
- 子どもの自主的活動の保障
 - ・ 代表委員会（月例）
 - ・ 児童総会（年1回）
 - ・ 児童会活動
 - ・ たてわり班活動
- いじめに対してのアンテナを高くもち、いじめの予兆を把握
- いじめの問題等に関する校内研修を実施し、情報の共有と教職員の資質向上
 - ・ 校内いじめ防止対策委員会
 - ・ 生徒指導研修会
- 家庭や地域・関係機関（民生委員・主任児童委員・湯口小中校区学校運営協議会等）との情報交換
- 自分を見つめ、友達のよさを見つける「いじめを考える日」6月3日

「自己有用感」を大切に

「自己有用感」とは、自己肯定感や自己存在感だけではなく、相手からの好意的な反応や評価があって感じることであり、自己の有用性のことです。

相手（他者）から認められていないと感じられた子どもは、相手を否定することや攻撃することが減ります。また、相手のことも認めることができるようになります。